

シナジー創出が着実に進む 2023/12期は為替がネガティブで増収減益を計画

サマリー

22/12期は修正計画を上回る順調な決算で着地、合わせて期末配当金が上方修正された。一方、23/12期は増収減益の計画だが、為替がネガティブに効き主力の機械・工具セグメントの海外収益が見た目上落ち込むことが一因で、実力ベースでは着実な収益改善・シナジー創出を進めるものと見られる。

2022/12期実績

通期実績は、売上高が1,624億円（2グループの収益を期間集計し直した修正値基準で前期比+13.4%）、営業利益が58.9億円（同+85.5%）であり、22年8月公表の修正計画を上回って着地した。機械・工具や建設資材セグメントにおいて、原材料高を受けた値上げ要求が想定以上に浸透し収益改善に寄与した。上振れ着地及び配当性向35%程度とする株主還元方針に従い、期末配当金は97.0→103.0円（通期では107.0→113.0円、記念配当50円を含む点に留意）に上方修正されている。

本決算の一つの注目ポイントは、中期経営計画で推し進める各種施策効果が定量的に開示された点だろう。クロスセルやEV領域の推進、間接部門の合理化など「統合シナジー」に係る施策で1.3億円、コンパクトブレースやレーザーケレンなど新商材の拡販を含む「戦略積上げ」で0.8億円営業利益を積み上げた模様である。中計最終年度にあたる2026/12期に各+10億円/+20億円の達成を目指していることを踏まえれば道半ばではあるが、着実に施策実行が進んでいると見て注目できよう。

2023/12期計画

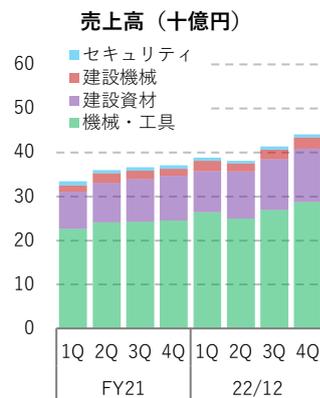
ガイダンスは、売上高が1,700億円（前期比+4.7%）、営業利益が57.0億円（同-3.3%）と増収減益だった。主力の機械・工具セグメントにて、売上高を前期+68.2億円の1,139億円（前期比+6.4%）、営業利益を同-4.7億円の27.7億円（同-14.4%）と計画していることが主因である。力弱く見えるが、急速に円安が進み為替が当社業績にポジティブとなった22/12期に対し、足元やや円高方向に触れていることから23/12期は逆にネガティブに寄与することが主因と見られる。同セグメントは売上高の3割弱が海外売上高であり、うち6割強は米州向けである。右図の通り四半期収益は右肩上がりに推移しており、シナジー創出等を含め実力ベースでは更なる収益拡大を進めるものと見る。しかし、経済見通しの不透明感が増したことから北米で引き合い件数が減少傾向にあることや、受注残高が豊富にあるとはいえマクロ的な受注高モメンタムに陰りがある点には留意が必要だろう。なお、記念配当が剥落するため通期DPSは61.0円が計画されている。

決算期 / 百万円,%	売上高	YoY	営業利益	YoY	親会社株主利益	YoY	EPS(円)	DPS(円)
2019/12	175,395	-	6,892	-	5,620	-	-	-
2020/12	145,028	-17.3	4,539	-34.1	2,996	-	-	-
2021/12	143,180	-1.3	3,178	-30.0	3,065	-	-	-
2022/12CE	158,000	10.4	5,500	73.1	4,100	33.8	161.9	107.0
2022/12	162,416	13.4	5,895	85.5	4,531	47.8	178.9	113.0
2023/12CE	170,000	4.7	5,700	-3.3	4,380	-3.3	172.9	61.0

出所：同社IR資料より SIR作成

注釈：FY21以前は2グループの収益を期間集計し直した修正値である。

なお、2022/12のDPSには、記念配当50円が含まれている点に留意されたい。



出所：同社IR資料より SIR作成
注釈：FY21以前は2グループの収益を期間集計し直した修正値である。

アナリスト 長谷川 翔平

research@sessapartners.co.jp



本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレイマーをご覧ください。

ディスクレイマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp